

1 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

I 金沢大学アドミッション・ポリシー

(1) 金沢大学憲章と教育の理念

1862（文久2）年、加賀藩彦三種痘所の設立をもって大学の創基とする金沢大学は、旧制第四高等学校を含む様々な前身校を源流として、1949（昭和24）年に新制金沢大学となりました。

150年以上に及ぶ金沢大学の教育研究と社会貢献は、そのありうべき姿を、現在、金沢大学憲章として明らかにしています。すなわち、金沢大学憲章は、その前文で大学全体の進むべき道をこう宣言しています。

「金沢大学は、本学の活動が21世紀の時代を切り拓き、世界の平和と人類の持続的な発展に資するとの認識に立ち、『地域と世界に開かれた教育重視の研究大学』の位置付けをもって改革に取り組むこととし、その拠って立つ理念と目標を金沢大学憲章として制定する。」

この憲章に謳われた教育理念とは、以下のものに他なりません。

「金沢大学は、学生の個性と学ぶ権利を尊重し、自学自習を基本とする。また、教育改善のために教員が組織的に取り組むFD活動を推進して、専門知識と課題探求能力、さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材を育成する。」

(2) 金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）と求める人材像

さらに、教育の国際化とグローバル人材育成が声高に叫ばれている今、金沢大学は、上に掲げた大学憲章を現在の状況における人材育成方針としてより具体化するために、金沢大学〈グローバル〉スタンダードを定めています。これは、各学域学類のアドミッション・ポリシーの源泉たる、大学全体のアドミッション・ポリシーとするものです。

金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）（抄）

「本学は、各人の立ち位置に課された人類の一員としての自己の使命を国際社会で積極的に果たし、知識基盤社会の中核的なリーダーとなって、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける能力・体力・人間力を備えた人材を育成する。」

すなわち、金沢大学は、このKUGSに適う資質と能力の開花を少なくとも確かな可能性として示すだけでなく、なによりも、このような人材になろうとする高い志と強い気概をもった人物の入学を期待しています。

(3) 金沢大学と主体性等評価

金沢大学は、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

II 学域・学類等のアドミッション・ポリシー

《融合学域》

あらゆる意味で社会が変容し、従来の知識、制度、方法等が国力の維持や強化に耐えられなくなりつつあります。多様な脅威にさらされるこれからの社会では、人文・社会・自然等の科学分野を往還し、融合的な学知と他者との共創を通じて、社会の各界で“未踏のイノベーションの創成をリードする中核的リーダー”となる人材が不可欠であり、本学域が共通して養成しようとしている人材像です。

【先導学類】

地球規模で急速に起こっている社会の変容や科学の進展を的確に踏まえた上で、表出する複層的な諸課題に関し、人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、新たな「知」を社会へ展開する意欲と素養を身につけた社会変革を先導する人材の育成を目指しています。

求める人材

- ・様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- ・多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- ・最先端の学知を連携・融合し、社会変革に資する新たな創成に挑戦したい人

【観光デザイン学類】（仮称）

地球規模で急速に起こっている社会の変容や価値の共感を的確に踏まえた上で、我が国の観光産業の諸課題に関し、人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、Society 5.0や新たな日常に対応し、多核連携型の国際観光立国を見据えた新たな観光価値をデザインする人材の育成を目指しています。

求める人材

- ・様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- ・多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- ・最先端の学知を連携・融合し、観光に資する新たな価値創出に挑戦したい人

選抜の基本方針／融合学域共通

■一般選抜

文系傾斜では、基礎学力を問うとともに、国語、英語に加え、先導学類では数学又は総合問題を、観光デザイン学類（仮称）では数学を、それぞれ課して学力を多面的に評価します。

理系傾斜では、基礎学力を問うとともに、数学、理科及び英語を課して学力を多面的に評価します。

■ KUGS特別入試（総合型選抜）

基礎学力に加え小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価し、口述試験（プレゼンテーションを含む）では、表現力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。

■ KUGS特別入試（英語総合選抜）

基礎学力に加え、英語による総合的な課題（総合問題）、口述試験（プレゼンテーションを含む）を課して、論理的思考力や国際的なコミュニケーション能力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を中心に多面的・総合的に判定します。

■ 超然特別入試（A-lympiad選抜）

口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、数学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。

■ 超然特別入試（超然文学選抜）

口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、文学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。

■ 在外留学生推薦入試

口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、本学入学後の勉学意欲や学類への適性を総合的に評価します。

■ 社会人選抜

小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価します。口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、勉学意欲や学類への適性を評価し、実務経験での努力のプロセス及び志願理由書等の書類を含めて多面的・総合的に審査します。

■ 帰国生徒選抜

国語、数学及び英語から2教科を課し、基礎学力を問うとともに、口述試験（プレゼンテーションを含む）により理解度、勉学意欲、基本的知識等を多面的・総合的に評価します。

■ 国際バカロレア入試

出願資格に定める国際バカロレア資格の要件充足に加え、小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価し、口述試験（プレゼンテーションを含む）では、理解度、勉学意欲、基本的知識等を、多面的・総合的に評価します。

■ 私費外国人留学生入試

基礎学力を重視するとともに、口述試験（プレゼンテーションを含む）により、コミュニケーション能力、勉学意欲及び本学での学びに必要な能力・資質を、多面的・総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等／融合学域共通

文系・理系にこだわらず、様々な教科・科目について偏りなく学習し、到達度をより高めておくことが必要です。

文学といった多彩な観点から考察し深く学ぶことを通じて、人間性と社会性に富む教養と課題発見能力、社会的応用性を備えた専門的知識、的確な自己表現の能力、そして多面的視野と柔軟なコミュニケーション能力を持った人材の育成を目指しています。

求める人材

- ・人間の行動、思想、歴史、文化、言語、文学といった知的営みとその成果に対し深い関心を持ち、勤勉性と忍耐力に裏打ちされた学習意欲を有する人
- ・文献読解から実験、フィールドワークまでを含む人文諸学固有の方法論のあり方を学び、その成果を多様な現代社会の諸課題の解決に活かしたいという意欲を有する人
- ・広い視野を持ち、多様な価値観や伝統、異文化を積極的に理解しようとする態度を有する人
- ・高等学校等で学習する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語について総合的な基礎学力を有する人
- ・国語及び英語をはじめとする外国語における文章の読解能力、論理的思考能力、そして的確な表現力を有する人

選抜の基本方針

■ 一般選抜

大学入学共通テストを課して総合的な基礎知識を評価するとともに、人文学類の基本的科目である国語と英語の能力、そして総合問題による文章読解能力・論理的思考能力・表現力を評価します。

■ KUGS特別入試（総合型選抜）

大学入学共通テストにより基礎学力を評価するとともに、口述試験により高校時代の学習成果・大学での勉学への意欲・コミュニケーション力等を評価し、小論文課題により文章読解能力・論理的思考能力・表現力を評価します。

■ 超然特別入試（A-lympiad選抜、超然文学選抜）

口述試験（プレゼンテーションを含む）により高校時代の学習成果・大学での勉学への意欲と関心・人文学で学習を進めるのに必要な資質等を評価し、小論文により論理的思考能力・表現力を評価します。

■ 帰国生徒選抜

国語と外国語の試験及び口述試験により外国語能力・表現力・意欲等を重点的に評価します。

■ 国際バカロレア入試

国際バカロレアのディプロマスコア及び口述試験により外国語能力・表現力・意欲等を重点的に評価します。

■ 私費外国人留学生入試

日本留学試験、TOEFL、国語の試験及び口述試験により知識・表現力・意欲等を重点的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

人文学類で学び、探究する事柄は、人間に関する様々な事象が対象となりますので、高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力を身につけておくことを望みます。

【法学類】

国内外の社会状況が大きく変化している現代において、法と政治に関する基本的な理念や知識は、個々人が他者と共生していくために不可欠なものとなっています。法学類では、こ

《人間社会学域》

【人文学類】

人文学類では、人間をその行動、思想、歴史、文化、言語、

のような認識に基づき、法学・政治学を体系的に学ぶことを通じて、現代社会が抱える諸問題を発見し、将来的課題に取り組む能力を有した人材を養成することを目標としています。

求める人材

- ・大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えている人
- ・国内外の社会問題に関心を持ち、よりよい社会の実現のために貢献したいと願っている人
- ・論理的思考や情報分析を通じて、また、過去の歴史的経緯をふまえつつ、社会現象の本質を探究したいという意欲のある人

求める人材／KUGS特別入試（総合型選抜）

- ・コミュニケーション能力（とくに、人の話を正確に理解し、自分の意見を論理的に述べる能力）が優れている人
- ・課題や仕事に率先して取り組む意欲や責任感のある人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加えて、外国語、国語及び数学の能力を重視して評価します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

基礎学力に加え、出願書類等を参考に口述試験を通じて、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを正確に理解し自分の意見を論理的に述べるコミュニケーション能力があるか、自主的・主体的に課題に取り組む意欲はあるかなどを総合的に評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

出願書類等を参考に口述試験（プレゼンテーションを含む）を通じて、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを正確に理解し自分の意見を論理的に述べるコミュニケーション能力があるか、自主的・主体的に課題に取り組む意欲があるかなどを総合的に評価します。

■帰国生徒選抜

国語能力に加え、口述試験を通じて、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを理解し自分の意見を論理的に表現する能力はあるか、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、などを総合的に評価します。

■国際バカロレア入試

大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、自主的に課題を発見し解決する意欲があるか、国際化に対応するために必要な表現力とコミュニケーション能力を修得してグローバルに活躍する意欲があるか、などを提出書類等及び口述試験の結果により総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語能力及び英語能力に加え、日本語による口述試験を通じて、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを理解し自分の意見を論理的に表現する能力はあるか、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、などを総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

- ・高等学校で履修した様々な科目の内容について理解していること
- ・法律や裁判例の読解、政治的問題の把握、これらに基づく私見の提示・論述に必要な国語力を十分に修得していること
- ・社会的・国際的諸問題の本質を探究し、その解決を図るために必要な社会科目や外国語科目の学力を十分に修得していること
- ・社会の数量分析や論理的思考のために必要な数学の学力を十分に修得していること

【経済学類】

経済学類では、多様な社会的課題に対応できる人材の育成を目指し、一般選抜に加えて、高校の専門教育を主とする学科又はそれと同等な総合学科からの進学希望者を対象とするKUGS特別入試、及び超然特別入試・帰国生徒選抜・国際バカロレア入試・私費外国人留学生入試を設けています。経済分野に対する興味・関心と、勉学に対する強い意欲を持ち、基礎的資質に優れた人材を求めます。

求める人材

- ・経済学・経営学に関する体系的知識を学び、現代社会の諸問題の分析と解決に挑みたい人
- ・国や地域社会の仕事に携わるために必要な専門的知識を身につけたい人
- ・国際的な社会経済の日々の出来事に鋭敏にアンテナを張り巡らせている人
- ・営利・非営利のビジネスに関心を持ち、将来これらのフィールドで活躍したい人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、国語・数学・外国語の能力を重視します。

■KUGS特別入試（学校推薦型選抜）

現代の文化・社会・経済に関する文章を理解する能力、論理的思考力、表現力に加え、平素の学習活動や大学入学後の計画等を重視します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度に加え、社会的課題の解決に取り組む意欲等を重視します。

■帰国生徒選抜

現代の文化・社会・経済に関する文章を理解する能力、論理的思考力、表現力に加え、高校時代における体験や大学入学後の計画等を重視します。

■国際バカロレア入試

現代の文化・社会・経済に関する日本語の文章を理解する能力、論理的思考力、表現力に加え、社会的課題解決への意欲、国際的に活躍する熱意や大学入学後の計画等を重視します。

■私費外国人留学生入試

日本語の文章に関する理解力、論理的思考力、表現力に加え、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎的知識等を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域においても、国際的な分野においても、人間社会で活躍するためには、国語・英語及び情報処理の基本的な力は不可欠です。また経済学類では、特に数学の知識を前提にした授業を履修することを求めます。さらに現代社会の経済及びそこの日本の位置づけを理解するためには、その前提として地理歴史・公民の知識が必要となります。現代の環境や技術革新の問題を学ぶためには、これと密接に結びついた科学技術の知識が必要であり、理科を学ぶことを望みます。

【学校教育学類共同教員養成課程】

学校教育学類共同教員養成課程（以下「学校教育学類」という。）では、義務教育段階の諸学校の教師を養成することを目的としており、専門職としての教師を目指す熱意にあふれ、仲間と協力しながら専門的能力・技能を伸ばしていける人材を求めます。

求める人材

- ・教育を通じて、地域社会の発展に貢献しようという強い意志を持っている人
- ・専門職としての教師を真摯に目指し、人を育てることの大切さと喜びを感じられる人
- ・現代の教育課題を含む幅広い分野に興味・関心を持っている人
- ・自己の考えをはっきりと表現し、他の人の考えをしっかりと受けとめることを通じて、他者と協働ができる人
- ・高等学校における履修内容を理解し、教職を目指すために必要な学力がある人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、英語、国語、数学、理科、総合問題の中から、3科目を選択する個別学力検査（英語と国語又は英語と数学を必修とする）を課し、多元的に評価します。

■KUGS特別入試

（総合型選抜）

（石川県教員希望枠）

基礎学力及び勉学意欲ならびに、石川県で教職に就くことへの熱意、資質・適性等を総合的に評価します。

（教科・免許状枠）

【美術】

基礎学力、課題に対する表現力、美術における基礎知識と論理的思考力、教職及び美術教育に対する熱意と抱負を総合的に評価します。

【保健体育】

基礎学力及び高校時代のスポーツ活動実績、教育や体育・スポーツに関わる勉学意欲と資質等を総合的に評価します。

【家政】

基礎学力及び家政教育に対する勉学意欲や資質等を総合的に評価します。

【特別支援】

基礎学力、課題に対する思考能力と論述能力、勉学意欲や資質等を総合的に評価します。

（学校推薦型選抜）

〈教科枠〉

【国語・社会科・英語】

基礎学力及び勉学意欲、人文・社会科学への関心、教職への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

【数学・理科】

基礎学力及び勉学意欲、自然科学への関心、教職への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

【音楽】

基礎学力及び演奏技術、表現力、ソルフェージュ能力、楽典の基礎的知識、志望動機、教職及び音楽に対する熱意と抱負等を評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜、超然文学選抜）

数学又は文学を介した教育への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

■国際バカロレア入試

学習意欲や資質、学校教育に関する課題意識や基礎知識について総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

基礎学力及び本学類としての適格性を評価します。なお、本学類は日本における義務教育段階の諸学校の教師を養成することを主たる目的とします。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

学校教育学類では、小学校教諭一種を含んだ2校種の免許状の取得に必要な科目の履修を卒業要件としていることから、次の3点を望みます。

- ・小学校・中学校・高等学校及びそれらに相当する学校など、これまで在籍してきた学校において教授された知識や技術を確実に獲得しておくこと
- ・大学で専門とする予定の分野に関する興味・関心を深めておくこと
- ・これまでの学校経験を省察するなどして、学校や教師のあり方について自分なりの考えを持っておくこと

【地域創造学類】

地域創造学類は、地域の自然、文化、住環境、人材、産業、社会関係などを専門的に分析把握し、自治を活かした地域固有のスタイルで、持続可能で質の高い個性ある地域を計画・設計・政策立案する能力を育成します。

プログラムの選択は、2年進級時に本人の問題関心と将来像及び学業成績等考慮して決定します。

求める人材

- ・大学での地域創造学の学修に必要な基礎的学力を有している人
- ・地域創造力を修得するために、本を読み、文章を書き、地域に出かけ、能動的に学修する努力を惜しまない人
- ・誰もが生き生きと安心して暮らせる地域づくりとグローバルな共生社会の発展に貢献したい人
- ・海外の情報に積極的にアプローチしようとする意欲と能力を有している人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、文系・理系科目両面の基本的科目である国語・数学・外国語を評価します。

■ KUGS 特別入試（総合型選抜）

基礎学力に加え、口述試験により地域創造に関わる学修への意欲や事象への関心、大学入学後の主体的な学修・研究への計画や積極性、授業を理解するための基礎知識や思考力・判断力・表現力、大学での経験を踏まえた将来の希望等をあわせた総合的な評価をします。

■ 帰国生徒選抜

小論文課題から、地域創造に関わる課題に対する理解力・思考力・表現力等を評価し、成績証明書（調査書）及び口述試験により、大学入学後の計画、授業を理解するための基礎知識、大学での経験を踏まえた将来の希望等をあわせて総合的に評価します。

■ 国際バカロレア入試

口述試験では、地域創造に関わる課題への多面的な質問をおこない、基礎的知識、思考力・表現力、勉強意欲や地域創造学類への適性を総合的に評価します。

■ 私費外国人留学生入試

小論文課題から、地域創造に関わる課題の基礎的知識・思考力・表現力等を評価し、口述試験により、学修意欲や地域創造学類への適性を総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域創造学類では、専門的総合的に地域創造学を学ぶことから、高等学校で学ぶ教科全般について文系・理系科目両面にわたり理解しておくことを求めます。

また、地域の諸課題を調査・分析し、政策立案できる能力の修得を目指す前提として、地域社会に対して強い関心を持ち、自ら主体的に情報を集め、自分なりの考えをまとめられるようにしておくことを望みます。

【国際学類】

国際学類は、実践的な英語などの語学力を活用して、将来、外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人、海外の NPO、NGO で経験を積みたい人、多国籍企業で力を試したい人、外国人に日本語・日本事情を教えたい人、国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な、多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靱な知性と深い共感力、国際的な場におけるコミュニケーションに必要な外国語運用能力、具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際関係・国際協力系、地域研究系、インクルーシブ社会構築系という3つの系に大別される複数のプログラムがあり、そのうちのいくつかは英語のみで卒業できます。

求める人材

- ・多文化や多民族、及び国際社会における諸問題に積極的な興味を持つ人
- ・自国文化のアイデンティティを常に問い続ける、探究心あふれる人
- ・英語をはじめとする国際的に重要な外国語の実践的な運用能力を高めるために、努力を惜しまない人
- ・探究心とコミュニケーション能力を用いて、諸問題を粘り強く話し合い、国際的な場で相互理解と交渉妥結に達しようとする人
- ・将来、国際的な場での活動への従事を目指す人
- ・外国人に対する日本語教師を目指す人

選抜の基本方針

■ 一般選抜

基礎学力に加え、国語・英語の学力と数学の学力又は総合的な課題（総合問題）の理解力・論理的思考力・表現力等を重視します。なお、大学入学共通テストの「英語」については、4技能をみる所定の英語外部試験のスコアを提出することができます。

■ KUGS 特別入試（総合型選抜）

第1次選考では、4技能をみる所定の英語外部試験のスコア及び調査書、志願理由書、活動報告書、高大接続プログラム提出課題等の書類を総合的に審査します。第2次選考では口述試験を行います。口述試験では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、調査書、志願理由書、活動報告書、高大接続プログラム提出課題等も口述試験の際の参考とします。

■ 超然特別入試（A-lympiad選抜、超然文学選抜）

出願資格及び出願要件を満たした上で、自主的に課題を発見し解決する意欲を有し、国際交流に必要な表現力と英語を中心とした外国語コミュニケーション能力を修得して世界に向けて活躍する熱意を有する人を求めます。

口述試験（プレゼンテーションを含む）では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、調査書、志願理由書、活動報告書等も口述試験（プレゼンテーションを含む）の際の参考とします。

■ 帰国生徒選抜

第1次選考では、4技能をみる所定の英語外部試験のスコア及び成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書の書類を総合的に審査します。最終選考では口述試験を行います。口述試験では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、調査書、推薦書、志願理由書も口述試験の際の参考とします。

■ 国際バカロレア入試

出願資格を満たした上で、自主的に課題を発見し解決する意欲を有し、国際交流に必要な表現力と英語を中心とした外国語コミュニケーション能力を修得して世界に向けて活躍する熱意を有する人を求めます。

口述試験では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、志願理由書も口述試験の際の参考とします。

■ 私費外国人留学生入試

パターンAでは英語及び日本語の文章を読ませ、それに関する問いに日本語で答えさせます。これによって、英語の知識とともに、社会・文化についての知識や論理的思考力及び日本語能力を総合的に評価します。また、口述試験では、基礎知識や日本語によるコミュニケーション能力、勉学意欲を十分に有しているかを判断し、日本留学試験の成績や所定の英語外部試験のスコアと合わせて、総合的に判定します。パターンBでは英語による文章を読ませ、それに関する問いに英語で答えさせます。これによって、社会・文化についての知識や論理的思考力及び英語能力を総合的に評価します。また、口述

試験では、基礎知識や英語によるコミュニケーション能力、勉学意欲を十分に有しているかを判断し、日本留学試験の成績や所定の英語外部試験のスコアと合わせて、総合的に判断します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

国際学類では、グローバル化する世界を多様な観点から理解し、異文化との〈しなやかな共生〉を実現することのできる真の国際人を送り出すことを目指しています。この目的の実現のために、本学入学前に「英語」や「政治・経済」、「世界史」、「地理」などの学習に積極的に取り組み、これらの教科の知識を十分に獲得しておくことを望みます。また真の国際人として活躍するためには、自国の歴史・文化についての教養も不可欠です。そこで志願者には、日本理解の基礎として「日本語」(国語)及び「日本史」の学習を強く推奨します。「日本語」での読み・書き・話すことへの能力は、大学で高度な知的訓練を受けるにあたり絶対必要な条件です。ただし、私費外国人留学生入試志願者で、英語による履修プログラムを希望する場合は、日本語能力を必要としません。国内外において外国の人々と、積極的にコミュニケーションする意欲をもつことも望みます。入学後の研究テーマによっては、これらに加えてグローバル・イシューに関係する様々な教科を学ぶ必要があります。

《理工学域》

【数物科学類】

数学、物理学は長い歴史をもつ学問として、互いに大きな影響を与え合いながら発展してきました。また、計算機シミュレーションという新しい研究手段の導入により、これまで困難とされていた複雑な数理や自然現象の理解に大きな進展がもたらされています。それらは自然科学をはじめとする現代のあらゆる科学の基礎を支えています。数物科学類では、21世紀の科学として発展を遂げつつある新しい数学、物理学を学ぶことを通じ、国際社会の発展に寄与できる人材を育成します。より具体的には数理的、あるいは物理的なものの見方、思考法及び洞察力を身につけ、教育、情報・通信、製造・開発、金融をはじめ、高度情報化社会の様々な分野で活躍できる人材を育成することが目標です。

1年次では学類共通で基礎的科目を学び、2年次から数学系と物理系の基礎プログラムのどちらかを選択し、より専門的な内容の学修へと進みます。両基礎プログラムには共通する科目も用意され、進路選択の参考になるように工夫しています。3年次からは、さらに専門性を高めた発展プログラム群の学修へと学習段階を上げて行きます。発展プログラムとして、数学、応用数理、計算科学、物理学を用意し、各分野の専門家になるための学習が可能になっているとともに、各プログラムには共通する科目も用意し、広い分野に興味を持って学習できるように工夫しています。基礎プログラム、発展プログラムともに人数制限は設けられておらず、各自の適正や興味に応じて自由にプログラム選択できるのも大きな特色の一つです。

数物科学類では、数学・物理学の基礎に加えて計算機シミュレーションも学ぶことでバランスのとれた能力を身につけることができる特徴があります。科学の基礎分野における

問題意識や基本原理を学び、様々な数理・自然現象を説明することができること、最先端の研究開発に応用可能な技術や問題解決能力及びコミュニケーション能力や表現能力を身につけること、数学・物理の原理に基づいて種々の自然現象を必要ならば計算機シミュレーションによって解析し、自ら課題を発見して論理的考察を行い、科学的実証により問題を解決することを重視します。

求める人材

- ・数学や物理学に興味をもち、それに取り組む熱意と探究心をもっている人
- ・計算機シミュレーション及びそれを用いた科学研究に興味のある人
- ・将来、数学、応用数学、計算科学、物理学及びそれらの関連分野の研究や教育に携わりたい人
- ・基礎科学をじっくりと学び、それを国際社会の発展に活かしたいと考えている人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学・理科及び英語の学力を重視します。

■KUGS特別入試(総合型選抜)

数物科学類にとっての基本的科目の学力を重視するとともに、課題レポートや口述試験により志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価します。

■超然特別入試(A-lympiad選抜)

願書類を参考に口述試験(プレゼンテーションを含む)を行い、数学的に特異な才能を持ち、その才能を活かして将来専門的分野で社会的な課題の解決に取り組むための能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価します。

■帰国生徒選抜

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学の学力を重視するとともに、口述試験により理解度、勉学意欲、基本的知識等を総合的に評価します。

■国際バカロレア入試

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学・理科の学力を重視するとともに、口述試験により理解度、勉学意欲、資質等を総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学・物理の学力及び日本語・英語の語学力を重視するとともに、口述試験により日本語能力、勉学意欲、資質を総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等の課程において、5教科7科目(数学、理科、外国語、国語、地理歴史・公民)又はそれに相当する科目を学び、そこで学修したことを十分に身につけておくことが必要です。

【物質化学類】

化学は物質の化学的性質・構造・反応などに関する基礎的原理の理解、新しい機能性物質の創製、さらに生活を支える化学製品の開発・製造から持続発展可能なエネルギー・環境技術の実現に至る幅広い領域を含んでいます。物質化学類では、現代社会の諸問題を解決できる創造力と技術力を身につ

けた優れた研究者・技術者を養成するためにプログラム制カリキュラムを採用しています。コアプログラムで基礎学力を修得後、主題ごとに体系化された6つのアドバンスプログラムから複数のプログラムを選択履修することで、化学の基本原理の探求と応用技術の創造に挑戦する力を身につけることができます。

“独創性や観察力など独自に考える力”をもち“未知の分野に対する強い探究心とチャレンジ精神”の旺盛な人の入学を期待します。

求める人材

- ・自然現象の観察と実験に強い興味を持ち、実験を通して創造的に自然と関わりたい人
- ・独自に考える力と自然に対する好奇心を持ち、発見の感動を味わいたい人
- ・研究を通して得た成果を世界に向けて発信し、社会や自然界へ応用することに意欲がある人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、物質化学にとっての基本的科目である化学・数学及び英語の学力を重視します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

基礎学力に加え、出願書類、高大接続プログラム課題等を参考にした口述試験により、思考能力と論述能力、化学分野の勉学意欲及び資質などを評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び出願書類を参考にした口述試験（プレゼンテーションを含む）により、思考能力と論述能力、化学分野の勉学意欲及び資質などを評価します。

■帰国生徒選抜

物質化学にとっての基本的科目である化学・数学及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試

物質化学にとっての基本的科目である化学・数学の学力を成績評価証明書により評価するとともに、口述試験により、化学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

化学・数学及び英語の学力を重視するとともに、口述試験により、大学の授業を理解するための基礎知識、日本語によるコミュニケーション能力などを評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目）について十分に理解できていることが必要です。さらに、化学を含む理系科目（理科、数学）は理学・工学の基礎となる科目ですので非常に重要です。文系科目（国語、外国語、社会系科目（地理歴史・公民））も自分の意見をまとめコミュニケーションを行うために必要です。また、高校生活の中で、日常的な科学現象に興味を持ち、それらを意欲的に探究する姿勢を身につけてください。

【機械工学類】

機械工学類では、技術者・研究者として、安全で安心な生活を支え、かつ、向上をもたらす様々な工業製品から、最先端

技術の開発に至るまでを対象とした、先進的な設計技術、超精密加工、高度なシミュレーション技法の研究、さらに、エネルギー問題の解決に取り組み、ものづくりのリーダーとして国際的に広く活躍する人材を育成します。そのために、機械工学の基盤となる物理学・数学を積極的に取り入れ、基礎学力の上に立脚した应用能力を涵養し、先端的教育・研究を通して技術革新を担う能力を育成します。また、自己を知り自己の人間力や表現力を高めるため、倫理・環境に関する教育・研究を実施して工学のみならず社会の調和に貢献し得る人間力を養成します。

本学類は、物理学・数学を駆使し、原子・分子レベルから、巨大構造までを対象とした最適設計法、超精密加工技術、新素材の開発など、未知の領域に挑む分野から、環境に配慮した新エネルギーやエンジンの開発など、自然の保護と持続に貢献する分野まで、広く興味を持つ人材の入学を期待します。

求める人材

- ・先端機械工学への興味、モノづくりへの熱意、人間支援に対する高い志を持ち、講義、実験や実習、さらには研究に積極的に参加して行動できる人
- ・技術倫理についての自覚を持ち、地球環境への関心が高く、グローバルな視野の拡大と国際的コミュニケーション能力の向上に意欲を持つ人
- ・自ら創造的に課題を解決しようとする意欲を持つ人

選抜の基本方針

■一般選抜

機械工学類とフロンティア工学類と電子情報通信学類の選抜を一括して行います。この一括入試では基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。入学後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を見つけていく経過選択制を導入しており、各学類への所属は2年次からとします。出願時に所属を希望する学類がある場合は1つだけ優先配属を申請でき、優先配属は入試成績により決定します。ただし、優先配属が決定した場合でも、2年進級時に優先配属を辞退して、他の2学類を再希望することができます。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

大学入学共通テストで基礎学力を評価するとともに、口述試験により、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、論理的思考力、表現力などを評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

「日本数学 A-lympiad」における受賞、及び、成績証明書（調査書）による基礎学力を参考にし、口述試験（プレゼンテーションを含む）により、論理的思考力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、社会的課題の解決に取り組む意欲等を評価します。

■帰国生徒選抜

理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試

理系基礎科目である数学・物理の学力を成績評価証明書により評価するとともに、口述試験により、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を評価するとともに、口述試験により、日本語によるコミュニケーション能力、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入学共通テストで課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般選抜の個別学力検査で課している科目（数学・理科・英語）について、十分理解しておくことが必要です。また、身の回りの“モノづくり”の仕組みから日常的な科学現象まで、様々な事象に対して探求力を高めることを望みます。

【フロンティア工学類】

本学類では、機械工学、化学工学、電子情報工学の知と技を結集した最先端の教育及び研究を通して、ナノの世界から宇宙空間や人間社会にわたるまでの様々な未踏領域を切り拓き、グローバルな観点から、工学の飛躍的な発展と、近未来社会の創造を牽引していくエンジニアや研究者の育成を目指します。具体的には、ロボティクス、航空宇宙工学、高度センシング技術、ナノテクノロジー、新機能性材料など技術革命をもたらす先進的な分野から、医療福祉工学、生活支援機器、化学製品など生活や社会の調和と発展をささえる分野まで、広く興味を持つ人材を受け入れます。本学類ではコース制は採用せず、電子機械、機械、化学工学、電子情報の4つのコアプログラムと、知能ロボティクス、バイオメカトロニクス、マテリアルデザイン、計測制御システムデザイン、ヒューマン・エコシステム、ナノセンシングの6つのフロンティアプログラムを組み合わせる履修します。

求める人材

- ・ロボティクス、航空宇宙、スマートビークル、スマートセンシング、インテリジェント制御、ナノスケール計測、高分子、微粒子材料の開発など、新たな技術や学問分野の開拓に意欲を持つ人
- ・メカトロニクス、医療福祉工学、物質システムを中心とした、機械工学、電子情報工学、化学工学の分野でエンジニア、研究者、教育者の道に進みたい人
- ・グローバルな視点からの技術革新を通じて、次世代の社会を創造していく技術の構築に高い志を持つ人
- ・人間性、独創性と創造性が豊かで、自ら問題点を解決する意欲を持つ人

選抜の基本方針

■一般選抜

機械工学類とフロンティア工学類と電子情報通信学類の選抜を一括して行います。この一括入試では基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。入学後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を見つけていく経過選択制を導入しており、各学類への所属は2年次からとします。出願時に所属を希望する学類がある場合は1つだけ優先配属を申請でき、優先配属は入試成績により決定します。ただし、優先配属が決定した場合でも、2年進級時に優先配属を辞退して、他の2学類を再希望することができます。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び調査書を参考にして、理数系分野の高いレベルの学力、フロンティア工学類に対する理解と勉学意欲及び資質等を口述試験（プレゼンテーションを含む）によって総合的に評価します。

■帰国生徒選抜

理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試

理系基礎科目である数学・物理の学力を成績評価証明書により評価するとともに、口述試験により、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、口述試験により、日本語によるコミュニケーション能力、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入学共通テストで課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般選抜の個別学力検査で課している科目（数学・理科・英語）について、十分理解しておくことが必要です。また、身の回りのモノづくりや製品の仕組みから日常的な科学現象まで、幅広い興味と探究心を持つことを望みます。

【電子情報通信学類】

本学類が対象とする分野は、持続的発展可能で高度に情報化された未来社会を創造する電気電子技術（EET）と情報通信技術（ICT）からなります。本学類は、電気エネルギー創成・変換、ナノテクノロジー、光・電子デバイス、宇宙探査、セキュリティ、人工知能、IoT（Internet of Things）、ビッグデータ、クラウドコンピューティングなどに興味がある人材の入学を期待しています。

本学類には電気電子及び情報通信の2つのコースがあります。地球的視点や技術者としての高い倫理観を有し、電気電子・情報通信分野の未来の課題に対する解決能力を有する自立した技術者・研究者を養成します。

求める人材

- ・エネルギー、エレクトロニクス、情報通信に関する技術を身につけて国内外の幅広い分野で活躍したい人
- ・科学実験やコンピュータなどに関心があり、電気電子・情報通信分野の未来の課題を見つけて創意工夫したい人
- ・数学が得意な人、物理学、数学の応用に積極的に取組みたい人

選抜の基本方針

■一般選抜

機械工学類とフロンティア工学類と電子情報通信学類の選抜を一括して行います。この一括入試では基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。入学後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を見つけていく経過選択制を導入しており、各学類への所属は2年次からとします。出願時に所属を希望する学類がある場合は1つだけ優先配属を申請でき、優先配属は入試成績により決定します。ただし、

優先配属が決定した場合でも、2年進級時に優先配属を辞退して、他の2学類を再希望することができます。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

出願書類、高大接続プログラム課題等を参考にした口述試験（プレゼンテーションを含む）により、本学類への勉学意欲及び能力・資質を評価するとともに、大学入学共通テストにより基礎学力を評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

出願書類を参考にした口述試験（プレゼンテーションを含む）により、本学類への勉学意欲及び能力・資質を評価します。

■帰国生徒選抜

理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試

理系基礎科目である数学・物理の学力を成績評価証明書により評価するとともに、口述試験により、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、口述試験により、日本語によるコミュニケーション能力、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入学共通テストで課している科目においては、理系科目及び文系科目ともに重要であるため、確実に修得しておくことを望みます。また、一般選抜の個別学力検査で課している科目（数学、物理、英語）については、入学後の本学類における授業及び研究の基礎として非常に大切ですので、しっかりと学び、身につけておくことを求めます。

【地球社会基盤学類】

本学類では、共通教育としての金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）に基づき、グローバル社会をリードする人材育成のため、われわれ人類の生存基盤となる地球、日常生活の生活基盤となる社会及びそれらを取り巻く環境を対象に、理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につけるため、地球惑星科学・環境科学や環境工学、土木工学、防災工学、都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識に基づく総合的・実践的な教育・研究を行い、地域からグローバルまでさまざまな局面において、社会をリードする研究者・技術者・教育者を養成します。科学的探究心に富み、これらの分野の専門知識を活かして活躍したいと考えている学修意欲のある人の入学を期待します。本学類には、地球惑星科学、土木防災、環境都市の3つのコースがあり、各コースへの配属は2年後期開始前に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・自然現象に対する科学的探究心のある人
- ・人文社会科学にも関心のある理系人間
- ・実験・野外調査や、ものづくり・創意工夫に興味のある人
- ・地域・我が国・世界の自然災害や防災・減災に関心のある人

- ・地球惑星科学、環境科学及び社会基盤工学の専門家や研究者になりたい人
- ・地球・環境・都市の課題に対し、科学技術を通じた社会貢献がしたい人
- ・都市や社会を支えるための科学技術に関心がある人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、理系基礎科目である数学、理科及び英語の学力を重視します。また、理系科目だけではなく国語や地理歴史・公民を含む幅広い能力も評価します。

■KUGS特別入試

（総合型選抜）

大学入学共通テストと成績証明書（調査書）により基礎学力を評価し、口述試験により、地球惑星科学若しくは社会基盤工学の勉学意欲及び資質を評価します。

（学校推薦型選抜）

出身学校長が責任を持って推薦する優秀な人物について、口述試験により、地球惑星科学に対する志向の明確さと勉学意欲及び資質を評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び調査書を参考にして、理数系分野及び英語の高いレベルの学力、理工学分野の勉学意欲及び資質等を口述試験（プレゼンテーションを含む）によって総合的に評価します。

■帰国生徒選抜

理系基礎科目である数学、理科及び英語の学力を重視します。

■国際バカロレア入試

地球惑星科学及び社会基盤工学の基礎となる数学、物理及び化学の学力を重視し、成績評価証明書等により評価します。また、口述試験により、地球惑星科学若しくは社会基盤工学の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、口述試験により、学類での授業を理解するための基礎知識、日本語によるコミュニケーション能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目を含む）について、しっかりと身につけておくことが必要です。特に、理系科目である数学、理科、また英語については、応用能力を含め、しっかりと身につけておくことが必要です。また、総合的な学力を身につけるために、理系のみならず、人文社会系科目の学修も勧めます。

【生命理工学類】

「生命」は21世紀の最重要キーワードといわれており、様々な生物についてシステムとしての理解が急速に進みつつあります。本学類では、生命に関する真理の探求を目指す生命科学、産業応用と技術開発を目指すバイオ工学、それらをコンピュータの力で拡張し加速する生命情報学の観点から、グローバル社会を牽引する研究者、技術者、さらには生命に関する最先端の知識を備えた人材の育成に貢献できる教育者

を養成します。本学類では、新分野を切り開く学術的探究心に富み、理学と工学の専門知識を活かして活躍したいと考えている学習意欲のある人の入学を期待します。

本学類には生命システム、海洋生物資源、バイオ工学の3つのコースがあります。また、各コースへの所属は、2年後期開始時に本人の希望と学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・生命現象に対して興味を持ち、理科系科目が得意で、実験や野外調査が好きの人
- ・日本海や世界の海洋生物資源の持続的な有効利用と増養殖に興味がある人
- ・基礎生物学、分子生物学、進化生物学、生態学、システム生物学、遺伝子工学、バイオ工学、バイオリファイナリー、生命情報学、環境科学、多様性生物学、海洋生物学、保全生物学などの分野で専門家や教育者の道に進みたい人
- ・生命科学やバイオ工学の分野で、新しい価値の創造や技術革新を目指したい人
- ・理学と工学の基礎知識を備えて、グローバル社会をリードし、生命・バイオ・海洋資源・環境分野で活躍したい人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、生命科学の基本的科目である数学、理科、外国語（特に英語）の学力を評価します。これらに加え、国語や地理歴史・公民を含む幅広い能力を重視します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

基礎学力に加え、高校等での課題研究や自主的な取り組みでの成果や、「海洋生物資源学、水産増養殖学、魚類生理学、生態学、保全生物学、環境学など」への関心を評価します。評価に当たっては、出願書類や口述試験（プレゼンテーションを含む）を重視します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

出願書類を参考に口述試験（プレゼンテーションを含む）を行い、特定分野における傑出した能力、社会的課題の解決に取り組む意欲、生命科学の基礎研究若しくは応用研究への関心などを評価します。

■帰国生徒選抜

基礎学力に加え、数学、理科、英語の学力を評価します。加えて、成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して評価します。

■国際バカロレア入試

生命理工学にとっての基礎となる数学・理科の学力を成績評価証明書により評価するとともに、口述試験により、理工学分野の勉強意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

数学、理科、英語の学力を評価します。日常生活に必要な日本語の読解・筆記能力も重視します。口述試験では、学類での授業を理解するための基礎知識や勉強意欲、コミュニケーション能力などを評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目を含む）について、しっかりと身につけておいてください。生命科学の基本的科目である数学、理科、英語

については、応用能力を含め特にしっかりと身につけておいてください。また、自然科学全般に広く興味を持って勉強しておいてください。

《医薬保健学域》

【医学類】

医学類は、本学における従来の医学部医学科に相当し、卒業者は医師国家試験の受験資格を与えられ、合格することによって医師としての資格を得ることになります。

その上で、医学類では、社会の変化に適応しつつ、多様かつ高度な医療ニーズに応え、プロフェッショナルな医師として成長・発展することが期待できる人材を受け入れます。

求める人材

明確な目的意識と強い使命感を有し、知識や技能の習得能力、論理的及び倫理的な思考力、協調性を有する人材を求めて選抜を行います。

なお、外国人留学生については、医師国家試験が日本語で行われる関係上、相応の日本語能力を求めます。

選抜の基本方針

選抜の方法としては筆記試験、口述試験等を行います。医学では幅広い正確な知識とそれに基づいた合理的な思考力が必要とされるため、高等学校等で学ぶ教科全般について高いレベルの基礎的な知識と、単なる知識ではない理解力・思考力を全教科にわたり、偏りなく身につけておくことが望まれますが、特に理数系科目に重点を置き、筆記試験においてその能力を測ります。また、自己表現能力、課外活動（ボランティア、部活動、生徒会活動等）の経験などを通じて得られた多様な人々と協働して学ぶ態度（協働性）、やり遂げる力（継続力）等を口述試験で評価します。

加えて、将来、石川県並びに富山県の地域医療をリードする指導的人材養成を目的とする学校推薦型選抜の特別枠では、石川県又は富山県の地域医療に貢献する強い意志を持った者を対象とします。

【薬学類】

薬学類は、人類が抱える健康や医療に関わる諸課題の解決に挑戦し、持続可能社会の実現に貢献する多様な「薬（くすり）専門人」の養成を基本理念とし、以下のような人材の養成を目指します。第一に、次代の薬学教育・薬学研究を担う、博士（薬学）の学位と薬剤師資格を併せ持つ「大学教員」、がん・生活習慣病・認知症・感染症等の主要疾患から難治性の希少疾患まで、革新的な医薬品の創出に取り組む「薬学研究者」等、薬学高度専門人材の養成を本学類の使命として特に重視します。第二に、超高齢社会、超過疎化、情報通信技術革新、国際化など、時代の急速な変化に対応して、人類の健康増進や疾病予防・治療に貢献できる多様な「薬学プロ人材」を養成します。第三に、薬学の知識のみならず多角的な知識・経験に基づいて物事を俯瞰でき、問題解決能力を身につけた「主導的薬剤師」を養成します。

一般選抜の入学者は、基礎・専門科目やキャリア形成科目群の学修を通して、自らの適性と使命を見極めた上で進路を決定していく教育システムを取っていますが、中でも本学類では大学院博士課程（4年制）への進学を強く推奨します。薬

学類・高大院接続入試の入学者には、大学院博士課程修了までの一貫した教育を導入しています。

求める人材／薬学類共通

- ・十分な基礎学力を備えている人
- ・健康や医療に関する諸課題に挑戦し、持続可能社会の実現に貢献したい人
- ・国内外の大学において、健康増進や医療の進歩につながる学術研究を推進するとともに、次代の薬学教育を担う大学教員を目指す人
- ・国内外の研究機関において、革新的医薬品の創出に資する先進的な基礎研究に携わる薬学研究者を目指す人
- ・薬剤師資格を持ち、他の専門性も身につけた「薬学プロ人材」として、国内外の幅広い健康・医療分野で活躍することを旨とする人
- ・医療現場で医師、看護師等の他職種の医療従事者と連携しながら、薬剤師を統率する主導的薬剤師（基幹病院の薬剤部長等）を目指す人

求める人材／薬学類・高大院接続入試

- ・上記に加えて、薬学や健康・医療に関連する分野を深く主体的に学ぶことに意欲が高く、大学院医薬保健学総合研究科・薬学専攻博士課程（4年制）まで進学し、将来、国公立・私立大学の薬学関連の教員・研究者として、世界をリードする最先端研究を行いながら、次代の人材育成に積極的に取り組むことを目指す人

選抜の基本方針

■一般選抜

高等学校での高いレベルの基礎学力と、特に理数英科目における秀でた学力を身につけた人材を選抜します。

■薬学類・高大院接続入試

知識・技能に加え、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価し、特に以下の(1)～(4)を重視します。(1)は書類審査及び大学入学共通テストの得点、(2)～(4)は書類審査、小論文及び口述試験で評価を行い、薬学類・高大院接続入試で求める人材であるかどうか、総合的に判断します。

- (1) 必要な基礎学力を備えているか
- (2) 将来への目的意識が明確で、そこへ向かう意欲・資質を有するか
- (3) 本質を理解しようとする探究心や洞察力を持ち、自主的・主体的に問題を見出して解決することに積極的か
- (4) 本学における博士課程までの一貫した学修を強く希望しているか

■帰国生徒選抜

授業を理解するための高い学力を個別試験により、素質・適性・学力を口述試験により評価します。

■国際バカロレア入試

素質・適性・高いレベルの基礎学力、特に理数科目における秀でた学力ならびに日本語能力を口述試験により評価します。

■私費外国人留学生入試

授業を理解するための高い学力を個別試験により、素質・適性・学力ならびに日本語能力を口述試験により評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修する科目（大学入学共通テストで課している科目）について、しっかり理解できていることを求めます。特に、理数科目と英語の高い基礎学力と理解力が必須です。また、人類が抱える健康や医療に関わる諸課題について、日頃から意識と関心を持つことを望みます。

【医薬科学類】

医薬科学類は、次代の先進医療や画期的新薬開発等のイノベーションにつながる先端的な医薬科学研究を世界レベルで展開できる高度な研究基盤力を備えた研究者人材の養成を基本理念とします。本学類には、生命医科学と創薬科学の2つのコースがあり、1年次に医学と薬学の基礎的科目を共通に修得した後、コースに分かれて各専門性を深化させ、大学院博士前期・後期課程に進学して、医学・薬学の幅広い視点といずれかの深い専門性を併せ持つ特色ある研究者人材の養成を目指します。生命医科学コースでは、薬学の基礎的知識も備えた、基礎医学・生命医科学領域を専門とする研究者を、創薬科学コースでは、医学の基礎的知識も備えた、基礎薬学・創薬科学領域を専門とする研究者を養成します。各コースへの配属は、2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

本学類では、以下に示す人材を広く求め、特に少数精鋭の特徴的な医薬科学教育を受けて、将来、世界の最先端医療や医薬品の研究・開発をリードする意欲を持つ人の入学を期待します。

求める人材

- ・十分な基礎学力を備えている人
- ・基礎医学及び基礎薬学を広く学び、生命医科学や創薬科学の発展に興味を持つ研究心旺盛な人
- ・将来、次代の先進医療や画期的新薬開発等のイノベーションにつながる研究成果を挙げて社会に貢献したい人

選抜の基本方針

■一般選抜

高等学校で学ぶ教科全般についての基礎的知識と、特に数学、理科、英語の高いレベルの学力を筆記試験によって評価します。

■超然特別入試（A-lympiad 選抜）

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び調査書を参考にして、理数系分野及び英語の高いレベルの学力、医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験（プレゼンテーションを含む）によって総合的に評価します。

■帰国生徒選抜

学類での授業を理解するための学力を個別学力検査により評価し、理数系分野の知識、医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験によって評価します。

■国際バカロレア入試

数学、物理、化学の学力を成績評価証明書により評価し、理数系分野の知識及び英語の高いレベルの学力、日本語によるコミュニケーション能力、医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験によって評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、数学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、学類での授業を理解する

ための学力を個別学力検査により評価し、理数系分野の知識、日本語によるコミュニケーション能力、医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験によって評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修する科目（大学入学共通テストで課している科目）について、しっかり理解できていることを求めます。特に、理数英科目の高い基礎学力と理解力が必須です。また、先進的な医療や医薬品に関して、日頃から意識と関心を持つことを望みます。

【保健学類】

保健学類は、「保健・医療・福祉における科学的な知識・理論・技術の修得と課題探究能力を養成し、豊かな教養と人間性を備えた高度専門医療人と保健学研究者を育成し、国民の医療・福祉の発展に寄与すること」を基本理念とします。教育目標は、1) 現代社会の抱える諸問題を総合的に洞察できる能力の育成、2) 日本語・外国語による討議・発表能力の育成、3) 保健学における基礎的知識と専門的知識・技術の修得、4) 保健学の知識・技術を活用した課題探究能力の育成、5) 豊かな人間性と高い専門職業人としての倫理観など医療人としての社会的使命感の涵養、6) 学際的保健学知識の統合による教育・研究能力の育成です。

保健学類では、国家試験受験資格の取得のためのカリキュラム編成が行われており、このため募集単位は看護学専攻、診療放射線技術学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の5専攻を設けます。

【看護学専攻】

看護科学は、人間の誕生から死までを包括的に捉え、人々が、グローバル化する社会、多様な環境に適応しながら健康的に質の高い生活を送ることを支援する学問です。看護学専攻では、健康に関わる知識と技術を体系的に学習します。さらに、学内及び学外の医療、保健及び福祉現場での実習を通じて、高い倫理観、専門職としての使命感、医療チームの一員としての責任を学びます。また、研究やゼミを通し、将来の看護科学を担う者として幅広い科学的知識、問題解決方法などを学び、将来の進歩や変化に対応するための能力を養うと同時に、看護実践力のある指導者、教育者、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、看護師、※保健師の国家試験受験資格を取得することができます。

※保健師課程は、選択制です。保健師として将来就職を希望する学生（最大40名：学類学生36名、編入学生4名）で、所定の科目を履修し、その単位を修得した者のみが、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

【診療放射線技術学専攻】

診療放射線技術学は、放射線、磁気、超音波を使用した医療機器の原理や特性、情報処理技術、各種の医療画像形成法、人体の形態、機能並びに医薬品に対する生物学的な特性などを修得する学問です。診療放射線技師となるために必要な専門技術を修得するとともに、医療や放射線機器の進歩に対応できる能力を養います。また、研究室配属を通じて、将来の診療放射線技術学を担う課題探求能力や、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、診療放射線技師の国家試験受験資格を取得することができます。

【検査技術科学専攻】

検査技術科学は、主に病気の診断や治療効果判定に対して重要な情報を提供する臨床検査を学習する学問です。本専攻では臨床検査に関わる知識と専門技術を体系的に獲得し、医療現場での実習を通じて医療チームの一員である専門技術者としての役割を学びます。また、研究室配属を通じて、進歩する医療科学を担う深い科学的考察や革新的技術などを取得する能力を養います。卒業時には臨床検査技師の国家試験受験資格を取得することができます。

【理学療法学専攻】

理学療法学は、リハビリテーション医療の一専門分野です。種々の疾患や事故などにより、神経、筋、骨格、循環器、呼吸器などに損傷や障がいをもたらした人に対して、運動療法や物理療法を駆使して治療に当たります。理学療法学専攻では、理学療法士となるために必要な治療技術を科学的、実践的に修得するとともに、医療人としてあるべき人間性を育成します。卒業時には、理学療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

【作業療法学専攻】

作業療法士として必要な知識、技術、コミュニケーション能力を修得し、専門職としての能力を高め、研究する態度をもつ人材を養成します。本学の作業療法教育は脳機能解析学や運動器障がいをはじめ、生活能力回復学の領域において幅広い分野の専門教員の下に行われています。作業療法の技術科学を修得し、研究を進め、技術を開発し、社会に役立つ人の入学を希望します。卒業時には、作業療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

【看護学専攻】

- ・看護の専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の健康、医療問題に対して国際的視野で貢献したいと強く願う人
- ・保健の分野で、新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・看護学及び看護の進歩のために、将来のリーダーとなる夢を持つ人

【診療放射線技術学専攻】

- ・診療放射線技師として保健医療を支えることができる有能な人
- ・高度先進医療に対応し常に努力することができる人
- ・専門的な知識を習得するのみならず研究・思考することができる人
- ・患者の立場に立って行動・発言できる豊かな人間性を持つ人

【検査技術科学専攻】

- ・病める人に対する医療のために、知識や専門技術を高めて、社会に貢献する情熱を持つ人
- ・医療科学の分野で新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・臨床検査技術の進歩に貢献し、将来のリーダーとなる夢を持つ人

【理学療法学専攻】

- ・豊かな人間性と愛情を持ち、学習意欲の高い人
- ・社会のニーズに応え、努力を惜しまない人
- ・理学療法学の今後を担い、人類社会に貢献できる人

【作業療法学専攻】

- ・たゆまず努力して、自分の能力を高めようとする人
- ・専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の新たな能力を引出し活用する作業療法を修得し発展させたい人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、看護学・診療放射線技術学・検査技術科学の3専攻は数学・理科及び英語の学力、理学療法学・作業療法学の2専攻は理科及び英語の学力を重視します。なお、理学療法学・作業療法学は2専攻併願で実施し、出願時に第2志望の専攻まで選択することができます。

■KUGS特別入試（学校推薦型選抜）

基礎学力に加え、口述試験で医療人としての適性の評価並びに調査書等の出願書類による総合評価をします。

■帰国生徒選抜

理科と英語の学力に加え、成績証明書（調査書）による総合評価をします。

■国際バカロレア入試

口述試験により理系能力及び医療人としての適性の評価並びに提出書類（志願理由書）等による総合評価をします。

■私費外国人留学生入試

学力検査により本学類の修学上に必要な基礎学力を有しているかを評価し、口述試験を通じて、志願者の日本語能力（対人コミュニケーション能力を含む）、英語能力及び本学類で修学することや医療人として職務を遂行することの適格性及び適性を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

【看護学専攻】

論理的思考力・表現力を身につけるため、文系科目と理系科目の幅広い基礎学力の習得を望みます。

【診療放射線技術学専攻】

科学的な視点で事象を理解するための基礎的な知識が必要であり、理科・数学を学んでおくことを望みます。また、文章を正確に読解し、事象に応じて的確に記述する国語・英語力の習得を望みます。

【検査技術科学専攻】

種々の臨床検査技術における基礎となる理論や科学的考察には、数学、物理、化学及び生物学の考え方や知識が必要で、高等学校においてこれらの教科の履修を望みます。また、情報収集及び発信に必要な英語の力を求めます。

【理学療法学専攻】

高等学校までに学ぶ国語、社会、数学、理科、英語について十分な基礎学力を身につけておくことが重要です。

【作業療法学専攻】

理系科目と文系科目の均衡がとれた幅広い基礎学力の習得を望みます。

《一括入試》

【文系一括、理系一括】

金沢大学では、「専門知識と課題探求能力、そして国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材の育成」を大学憲章において教育目標に掲げています。さらに金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）では、科学的な世界観と歴史観、論理的展開力、己を磨く人間力、創造力、そして日本文化・異文化に対する深い理解力を備え、知識基盤社会の中核的リーダーとなって挑戦し続ける人材の育成に努めることを謳っています。金沢大学は、上述の目標と大学に求められる社会的役割を踏まえ、入学後の学修、研究に必要な基礎学力を有し、さらに豊かな教養の涵養、高い専門性の修習を目指す学生が入学することを期待します。

特に文系一括、理系一括入試においては、様々な分野にまたがって強い興味と関心を持ち、幅広い分野に触れて自らの視野を広げながら主体的に学ぶ熱意があり、かつ、積極的に課題を発見して取り組む意欲のある人を受け入れます。

一括入試で入学した学生は、国際基幹教育院総合教育部に1年間所属し、文系の場合は人文科学・社会科学に関する分野を、理系の場合は自然科学に関する分野を広く学び、2年進級時に、本人の志望、学業成績等を考慮の上、文系の場合は融合学域又は人間社会学域の中から、理系の場合は融合学域、理工学域又は医薬保健学域（医薬科学類、保健学類理学療法学専攻及び作業療法学専攻を除く）の中から移行する学類（保健学類の場合は専攻）を決定します。

求める人材

- ・多様な分野にまたがり強い興味と関心を持つ人
- ・幅広い分野に触れて自らの視野を広げながら主体的に学ぶ熱意がある人
- ・積極的に課題を発見して取り組む意欲のある人
- ・リーダーシップと協調性を持つ、あるいはこれからそれらを身につけることを目指す人
- ・意思決定に伴う責任を自覚した上で、客観的かつ科学的な状況分析を心がける人

選抜の基本方針

■一般選抜

文系一括入試では、基礎学力に加え、英語の学力と総合的な課題（総合問題）の理解力・論理的思考力・表現力等を重視します。

理系一括入試では、数学及び英語の基礎学力に加え、物理又は化学の学力を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力・表現力を身につけておくことを望みます。